

令和4年度 第2回 城北小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和4年 6月10日（金） 14時30分から16時15分まで
 - 2 開催場所 城北小学校 会議室
 - 3 出席委員 岩井弘美子、川嶋 正幸、中川 勝夫、高柳 理子、深谷 真光
中川 智博、鈴木 千栄、清水 裕人
 - 4 欠席委員 山岸 絵里
 - 5 オブザーバー 山口 朋章（高台協働センター）
井下 俊輔（はままつ青少年の家）
 - 6 学校支援コーディネーター 紙上 理恵
 - 7 学 校 山内登志弘（校長）、坂本 友彦（教頭）、小谷 留美（CSディレクター）
 - 8 傍 聴 者 なし
 - 9 協議事項
- (1) 4・5月の実践について
 - (2) キャリア教育を柱とした人づくり
- ①キャリア教育について
 - ②キャリア教育の年間計画と評価について
 - ③キャリア教育の充実のためにできること
- 7 会議録作成者 CSディレクター 小谷 留美
 - 8 会議記録

司会の坂本教頭から、委員総数9人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 議長の選出について

司会から、議長の選出について年間会長にお願いすることを提案したところ、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(2) 4、5月の実践について

議長の指示により、4、5月の実践について坂本教頭から説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ボランティア活動は、学校側が主導でやっていく方がよい。先生の依頼でボランティアが動くようにしていくべき。学校主導にすると学校の負担になるという点もある。（鈴木委員）
- ・ボランティア中心でやっていくともめ事が起こる可能性がある。もとをはっきりさせて活動することが大切。（川嶋委員）

(3) キャリア教育を柱とした人づくり

議長の指示により、キャリア教育を柱とした人づくりについて、山内校長から説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・キャリア教育は力がついていくと思う。発達段階に応じて目標を立て、チャレンジすることを増やし、親や先生が肯定して自信をつけさせるとよい（岩井委員）
- ・短冊に他人の良さを見付けるための活動を行っている。自分の良さを見付けるためになっけないと思っていたが、肯定感をもてるようになる。（清水委員）
- ・短冊にたくさんいいところを書いてもらい、子供たちの自信につながっていると感じる。運

動会でリレーがなくなりとても残念。勉強ができなくても、他で見せ場があるので、そのような場をつくることも必要ではないか。(高柳委員)

- ・学校評価では、パーセンテージの低いところが気になった。優秀な人の話を聞くだけでなく、もっと身近な人にインタビューをして会話をすることで、自分でもできるかもしれないと思うようになれるのではないか。(深谷委員)
- ・教育の原点に戻ることは素晴らしい。競争を取り入れることもよいと思う。すごい人を呼んで話を聞くことも大事だが、城北小サポーターの方や地域のお年寄りの方との接点を増やしていけたらよいと思う。(中川智博委員)

その他報告事項等

司会から、次回会議は、令和4年10月29日(金)13時30分から授業参観と合わせて城北小会議室で開催する旨の報告があった。